

開催日	平成 27年 7月 28日(火) 南区役所4階 401、402会議室
参加機関・担当者	別紙の出欠表を参照
主な議題	1. 学校進路担当及び区障害担当より報告 2. 日中活動機関より報告 3. 質疑応答
会議記録	<p>1.進路状況報告 学校から資料に基づいて各学校・区役所cwより南区在住の卒業生について説明を実施。27年度卒業生45名。</p> <p>2.進路状況報告 日中活動機関から 【新規利用者の受入れについて】 ○どんとこい・みなみ:南区に限らず、他区在住者も実習多い。来年度の卒業見込み人数が出ているので、計画的に受け入れていきたい。 ○こそあどぐるん:受け入れは、応相談。 ○へいへいほー:現在12名。実習希望は多い。応相談。 ○地域活動支援センターめざみ:現在13名。受け入れは2名。 ○めざみ工房:現在13名。受け入れは1~2名。 ○あいの木なかざと:定員20名、現在20名在籍。受け入れなし。 ○あいの木ひがしまいた:定員20名、現在20名在籍。受け入れなし。 ○あいの木きょうしん:定員20名、現在18名在籍。受け入れ2名。 ○あいの木むつかわ:定員20名、現在18名在籍。受け入れ2名。(1名は他事業所へのSTEPUPを望んでいる。流動的) ○ラフォーレさくら:定員20名、現在17名在籍。入院中の方が戻ると18名。現状の支援体制を考えると余裕はない。 ○南福祉ホームむつみ:たんぼぼ新設で移籍された方がいるので、受け入れは7名。 ○たんぼぼ:定員15名、現在10名在籍。 ○ぼれぼれ:受け入れは応相談。 ○サンクステンプ:雇用65名、指導員8名。 ○南授産所:現在54名、8月1日から55名。受け入れは1~2名。市営授産所のなかでは、中区、戸塚区、港北区が空きがある。</p> <p>3.質疑応答 Q1.港南区重心多機能施設の動向を教えて欲しい。 A1.全130床(大人、子ども)。28年8月50名入所。残りの方は29年度。 関連して、横浜療育センター建て替えがあるため、28年3月横療受け入れなし。</p> <p>Q2.肢体医療ケアのある卒業生増の見込みあり、進路先について 北部方面では、実習は受け入れている。通所先は1カ所が望ましいが、2カ所になってしまう。このままだと現在の高1は医療ケアありの方は在宅になってしまうかもしれない。小6だと900人。</p> <p style="text-align: center;">〈裏面へ〉</p>
今後の予定	・次回平成28年1月19日(火) 13:30~15:30 南区社会福祉協議会 多目的室8F

<p>会議記録</p>	<p>Q3.企業就労は追い風。法定雇用率が上がり、納付金対象企業の条件が広がる。ただ、障がい者を雇用する体制にない企業に就職しても継続する厳しさがある。</p> <p>Q4.傾向として、小中一般校個別支援級から高等部特別支援学校の児童が増えている。家族支援や不登校の対応が多く見込まれる。</p> <p>Q5.修悠館高校の特色を教えて欲しい。</p> <p>A5.通信制高校。以前のように、働きながら通学する児童は少ない。特別支援学校をやめて入学する場合もあるが、卒業できる児童は少ない。 生徒から申告がなければ、福祉的な教育はしない。低年齢から精神保健福祉手帳の所持者多い。手帳所持者は200名(自己申告)</p> <p>Q6.計画相談の来年度完全実施は無理ではないかと、家族は言っている。</p> <p>Q7.就労移行(アセスメント)事業所が南区にはない。来年度は高3全員受けることになるのか。夏ごろに局の返答があるようだが、前倒しで知っておきたい。 就労移行支援アセスメントは、学習プログラムについていけず、厳しい結果になっている。</p> <p>Q8.障がい者権利条約の合理的配慮について、どのように進めていくのか、権利をふりかざすことにならないか。</p>